

研修事業実績

● 社会基盤整備

開発途上国では都市開発、道路、上下水道等の社会基盤の整備が遅れているために、国の経済発展だけではなく、これらの施設、そして社会基盤のシステムが持続的に機能するために必要な人づくり、制度づくりも支援しています。JICA北海道では、国土交通省北海道開発局、北海道、札幌市等の地方自治体や大学及び協力団体等のノウハウを活用して、途上国の多くのニーズに対応した研修を行っています。また、寒冷地に位置する北海道の特徴を生かした研修なども行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
<札幌>						
1	道路維持管理（A）	課題別	8	カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン	国土交通省北海道開発局、一般社団法人北海道開発技術センター	22.04.19-22.10.27 (来日+遠隔)
2	道路維持管理（B）	国別 (上乘せ)	5	ジンバブエ	札幌市建設局、一般社団法人北海道開発技術センター	22.05.26-22.10.27 (来日+遠隔)
3	道路維持管理（E）	課題別	6	ベナン、コンゴ共和国、マリ、コンゴ民主共和国	北海道庁建設部、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター	22.06.03-22.07.15 (遠隔)
4	上水道施設技術総合：水道実務者向け実践編（B）	課題別	5	ブータン、インド、スリランカ、サモア	札幌市水道局、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター	22.08.05-22.09.30 (遠隔)
5	上水道施設技術総合：水道実務者向け実践編（B）	国別 (上乘せ)	1	バングラデシュ	札幌市水道局、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター	22.08.05-22.09.30 (遠隔)
<帯広>						
1	地熱掘削運営管理	課題別	4	ジブチ、エチオピア、インドネシア、タンザニア	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23.03.15.-23.04.06
2	地熱掘削運営管理	国別 (上乘せ)	4	エチオピア、インドネシア	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23.03.15.-23.04.06

● 環境

開発途上国では、人々が貧困のために自然環境を破壊し、そのことがますます貧困を深刻化していくという環境劣化と貧困の悪循環が起きています。また、人間の活動全般から発生する環境への負荷（悪影響）を減らし、持続可能な消費と生産が可能となる社会の仕組みづくりを行うことが重要な課題となっています。JICAは開発途上国の自然環境保全に取り組むとともに、水質汚染対策、廃棄物処理等の分野で支援を行っています。JICA北海道では、道内の森林管理のノウハウや地方自治体の都市環境対策の経験を活かした研修を積極的に行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
<札幌>						
1	森林リモートセンシング	課題別	5	ブラジル、コソボ、モルドバ	酪農学園大学	22.07.11-22.09.08 (遠隔)
2	森林リモートセンシング	国別 (上乘せ)	2	モルドバ、バングラデシュ	酪農学園大学	22.07.11-22.09.08 (遠隔)
3	固形廃棄物管理の基礎（A）	課題別	6	コスタリカ、ホンジュラス、ニカラガア、パナマ、ポリビア	一般財団法人一般財団法人日本国際協力センター	22.08.03-22.09-01 (遠隔)
4	固形廃棄物管理の基礎（A）	国別 (上乘せ)	3	ウルグアイ	一般財団法人一般財団法人日本国際協力センター	22.08.03-22.09-01 (遠隔)
5	鉱物資源の持続的な開発のための能力強化研修	課題別	5	フィリピン、カンボジア、ブータン、ジンバブエ、ルワンダ	一般財団法人石炭フロンティア機構	22.10.04-22.11.17
6	鉱物資源の持続的な開発のための能力強化研修	国別 (上乘せ)	1	モザンビーク	一般財団法人石炭フロンティア機構	22.10.04-22.11.17
7	森林等自然資源の持続可能な利用とバリューチェーン強化	課題別	2	スリランカ	酪農学園大学	22.10.31-22.12.02 (遠隔)
8	森林等自然資源の持続可能な利用とバリューチェーン強化	国別 (上乘せ)	1	バングラデシュ	酪農学園大学	22.10.31-22.12.02 (遠隔)
<帯広>						
1	保護地域協働管理を通じた生態系保全	課題別	9	コスタリカ、キューバ、ドミニカ共和国、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラガア、パラグアイ、ペルー	(一財) 自然環境研究センター	22.11.16-22.12.14

2	気候変動に対する順応的流域管理「災害リスク削減と生態系保全」	課題別	8	インド、エチオピア	アークコーポレーション株式会社	22.7.7-22.8.12 (遠隔)
3	自然環境行政官向けのエコツーリズム	課題別	7	アルメニア、ガボン、コンゴ民主共和国、ジョージア、スリランカ	釧路国際ウェットランドセンター	22.9.7-22.9.30 (遠隔)
3	自然環境行政官向けのエコツーリズム	課題別 (上乗せ)	1	アルバニア	釧路国際ウェットランドセンター	22.9.7-22.9.30 (遠隔)
4	生態系を活用した防災・減災(Eco-DRR)による、湿地と周辺地域の生態系保全、流域管理と地域開発	課題別	10	キューバ、エクアドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、パラグアイ	釧路国際ウェットランドセンター	23.1.24-23.2.14 (遠隔)
5	地域住民の参加による持続的な森林管理	課題別	8	マラウイ、コートジボワール、ジョージア、フィリピン、ウガンダ、バブアニューギニア、東ティモール、ソロモン	アジア航測株式会社	22.10.5-22.12.6
6	地域住民の参加による持続的な森林管理	国別 (上乗せ)	2	バングラデシュ、トルコ	アジア航測株式会社	22.10.5-22.12.6

● 保健医療

基本的な保健医療サービスが提供されれば簡単に予防・治療できる程度の病気やお産などで、今も開発途上国を中心に多くの尊い命が失われています。JICAは「感染症対策」「母子保健」「保健システム」などの分野において、開発途上国の保健・医療の充実に取り組んでいます。JICA北海道では、道内の僻地における公衆衛生の改善の経験等を活かして、母子保健や保健行政人材の育成等を行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
<札幌>						
1	アフリカ地域 地域保健担当のための保健行政	課題別	10	エチオピア、ケニア、リベリア、マラウイ、コートジボワール、ジブチ、ルワンダ、シエラレオネ、セネガル	旭川医科大学	22.07.20-22.09.02
1	アフリカ地域 地域保健担当のための保健行政	国別 (上乗せ)	2	リベリア	旭川医科大学	22.07.20-22.09.02
<帯広>						
1	母子栄養改善	課題別	13	カンボジア、ガーナ、グアテマラ、インドネシア、マダガスカル、モザンビーク、ルワンダ、セネガル、シエラレオネ	公益財団法人 ジョイセフ	22.8.4-22.11.18 (遠隔)
2	母子栄養改善	国別 (上乗せ)	2	ナイジェリア	公益財団法人 ジョイセフ	22.8.4-22.11.18 (遠隔)

● 地域振興・地域開発行政

急激に都市化が進む都市部と、開発から遅れた地方部の経済格差が開発途上国では拡大しています。こうした格差を是正するとともに、それぞれ固有の問題を解決するためにJICA北海道では、北海道で培われた地域総合開発の経験や地域リソースを活用した地域振興を目的として、開発途上国の行政官等を対象に、課題解決に向けた人材育成を支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
<札幌>						
1	地域開発計画管理	課題別	5	バブアニューギニア、ドミニカ共和国、ナイジェリア、シエラレオネ	国土交通省北海道開発局、一般財団法人日本国際協力センター	22.10.19-22.11.22
2	参加型地域開発のための地方行政強化(A)	課題別	7	ドミニカ共和国、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、コロンビア	公益財団法人はまなす財団	22.09.21-22.10.19
3	参加型地域開発のための地方行政強化(A)	国別 (上乗せ)	2	エルサルバドル	公益財団法人はまなす財団	22.09.21-22.10.19
4	参加型地域開発のための地方行政強化(A)	国別 (有償上乗せ)	2	ブラジル	公益財団法人はまなす財団	22.09.21-22.10.19
5	参加型地域開発のための地方行政強化(B)	課題別	3	ネパール、パレスチナ	一般財団法人北海道国際交流センター	22.10.20-22.11.11 (遠隔)
6	参加型地域開発のための地方行政強化(C)	課題別	11	ガーナ、ケニア、ウガンダ、タンザニア、シエラレオネ、南スーダン	一般財団法人北海道国際交流センター	22.07.08-22.08.02 (遠隔)
7	中米統合機構加盟国向け 道の駅による道路沿線地域開発	課題別	11	コスタリカ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア	国土交通省北海道開発局、一般社団法人北海道開発技術センター	22.08.29-22.09.30
8	中米統合機構加盟国向け 道の駅による道路沿線地域開発	国別 (上乗せ)	2	パラグアイ	国土交通省北海道開発局、一般社団法人北海道開発技術センター	22.08.29-22.09.30

＜帯広＞						
1	公共事業における市民参加、合意形成及び住民移転	課題別	1	インドネシア	北海道大学、一般社団法人一般社団法人北海道開発技術センター	22. 8. 22-22. 9. 5 (遠隔)
2	公共事業における市民参加、合意形成及び住民移転	国別 (上乗せ)	4	バブアニューギニア、ルワンダ	北海道大学、一般社団法人一般社団法人北海道開発技術センター	22. 8. 22-22. 9. 5 (遠隔)

● 農林水産業等

農林水産業は、自国で必要とされる食糧を安定的かつ安全に供給する役割・期待を担っています。とりわけ、開発途上国においては主要産業として重要です。JICA北海道では、北海道における農村のリソースを活用した地域振興や持続可能な開発につながる資源の有効利用に関する北海道の経験・知見を活かして、人材育成を支援しています。また、農業分野におけるデジタル技術を活用した研修も行っていきます。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
＜札幌＞						
1	農民主体型用水管理システム (A)	課題別	6	フィリピン、ベトナム、バングラデシュ、ガーナ、ルワンダ	大雪土地改良区	22. 08. 05-22. 09. 24
2	農民主体型用水管理システム (A)	国別 (上乗せ)	4	ネパール、バングラデシュ	大雪土地改良区	22. 08. 05-22. 09. 24
3	農民主体型用水管理システム (B)	課題別	5	ハイチ、ブルンジ、モーリタニア、セネガル	一般財団法人日本国際協力センター	22. 08. 01-22. 09. 06
4	農民参加による農業農村開発 (B)	課題別	4	ブルンジ、マダガスカル、モーリタニア、ニジェール	公益財団法人北海道農業公社	22. 07. 20-22. 08. 10 (遠隔)
5	農民参加による農業農村開発 (B)	国別 (上乗せ)	1	マダガスカル	公益財団法人北海道農業公社	22. 07. 20-22. 08. 10 (遠隔)
6	アフリカ地域 小規模農家のためのアグリビジネス振興 (B)	課題別	13	コートジボワール、マダガスカル、ルワンダ、セネガル、トーゴ	一般社団法人滝川国際交流協会	22. 05. 19-22. 07. 08 (遠隔)
7	アフリカ地域 小規模農家のためのアグリビジネス振興 (B)	国別 (上乗せ)	3	ブルキナファソ、ハイチ	一般社団法人滝川国際交流協会	22. 05. 19-22. 07. 08 (遠隔)
8	水産資源の持続的利用とバリューチェーン開発	課題別	9	カンボジア、東ティモール、バブアニューギニア、エジプト、チュニジア、タンザニア、カメルーン	北海道大学	22. 08. 15-22. 09. 30
9	水産資源の持続的利用とバリューチェーン開発	国別 (上乗せ)	1	フィジー	北海道大学	22. 08. 15-22. 09. 30
10	中央アジア地域農民組織強化	課題別	9	カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン	株式会社アジア地域連携研究所	22. 10. 03-22. 11. 03
＜帯広＞						
1	灌漑施設の維持・運営管理	課題別	5	ベリーズ、イラン、ネパール、ジンバブエ	北海道開発局帯広開発建設部	22. 8. 29-22. 9. 28 (遠隔)
2	灌漑施設の維持・運営管理	国別 (上乗せ)	7	バングラデシュ、ザンビア、ガーナ、ブータン、ネパール	北海道開発局帯広開発建設部	22. 8. 29-22. 9. 28 (遠隔)
3	バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興 (アジア地域) ~高付加価値な地場食品供給に向けて~	課題別	4	マレーシア、フィリピン、ベトナム	十勝インターナショナル協会	23. 1. 16-23. 2. 16 (遠隔)
4	バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興 (アジア地域) ~高付加価値な地場食品供給に向けて~	国別 (上乗せ)	5	ブータン、ネパール、フィリピン	十勝インターナショナル協会	23. 1. 16-23. 2. 16 (遠隔)
5	乳肉卵を中心とした畜産物の安全性確保と品質管理向上	課題別	3	ジョージア、コソボ、スリランカ、ウズベキスタン	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23. 1. 17-23. 3. 2 (遠隔)
6	乳肉卵を中心とした畜産物の安全性確保と品質管理向上	国別 (上乗せ)	2	パキスタン、スリランカ	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23. 1. 17-23. 3. 2 (遠隔)
7	バリューチェーンの整備を通じた農村振興 (畜産物の付加価値向上)	課題別	7	イラク、イラン、スリランカ	帯広畜産大学	22. 6. 27-22. 7. 5 22. 8. 22-22. 9. 14 (遠隔)
8	栄養改善を目的とした乳生産のための牛の飼養管理	課題別	2	エリトリア、アルジェリア	十勝インターナショナル協会	22. 10. 6-22. 11. 15 22. 2. 24 (遠隔)

9	栄養改善を目的とした乳生産のための牛の飼養管理	国別 (上乗せ)	2	パキスタン、スリランカ	十勝インターナショナル協会	22. 10. 6-22. 11. 15 22. 2. 24 (遠隔)
10	アラブ圏市場志向型農業振興 (行政官)	課題別	13	エジプト、パレスチナ、モロッコ	十勝インターナショナル協会	23. 2. 19-23. 3. 9 (遠隔)
11	アラブ圏市場志向型農業振興 (行政官)	国別 (上乗せ)	2	スーダン	十勝インターナショナル協会	23. 2. 19-23. 3. 9 (遠隔)
12	(ケニア) 食品科学	国別	1	ケニア	国立大学法人帯広畜産大学	22. 10. 27-23. 4. 20
13	(ケニア) 食品栄養生化学	国別	1	ケニア	国立大学法人帯広畜産大学	23. 1. 18-23. 7. 27
14	(ナミビア) 北部ナミビア小規模農家生計向上プロジェクト	国別	11	ナミビア	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	22. 11. 24-22. 12. 14
15	アジア地域 市場志向型農業振興 (行政官) B	課題別	8	カンボジア、フィリピン、インドネシア	十勝インターナショナル協会	22. 07. 25-22. 08. 12. (遠隔)
16	アジア地域 市場志向型農業振興 (行政官) B	国別 (上乗せ)	8	ネパール、フィリピン、タジキスタン	十勝インターナショナル協会	22. 07. 25-22. 08. 12. (遠隔)
17	農業・農村DX/スマートフードチェーン共創に向けた産官学人材育成 (B)	課題別	6	アルゼンチン、ボリビア、グアテマラ、ペルー	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	22. 10. 25. -22. 11. 17.
18	農業・農村DX/スマートフードチェーン共創に向けた産官学人材育成 (B)	国別 (上乗せ)	4	エクアドル、エルサルバドル	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	22. 10. 25. -22. 11. 17.
19	人獣共通感染症対策(寄生虫病含む) 研究者育成	課題別	8	コンゴ民、ウガンダ、ケニア、パラグアイ	国立大学法人帯広畜産大学	22. 11. 7. -23. 4. 26. (来日+遠隔)
20	人獣共通感染症対策(寄生虫病含む) 研究者育成	国別	6	エチオピア	国立大学法人帯広畜産大学	22. 11. 7. -23. 4. 26. (来日+遠隔) □
21	アジア地域 市場志向型農業振興 (行政官) A	課題別	4	パキスタン、スリランカ	十勝インターナショナル協会	23. 08. 22. -23. 09. 09. (遠隔)
22	アジア地域 市場志向型農業振興 (行政官) A	国別 (上乗せ)	15	インド、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、スリランカ	十勝インターナショナル協会	23. 08. 22. -23. 09. 09. (遠隔)
23	市場志向型農業とバリューチェーンモデル導入による地域アグリビジネス振興	国別	12	ブータン	十勝インターナショナル協会	22. 09. 26-23. 10. 21 (遠隔)
24	戦略的マネジメント・マーケティングによる持続的地場産業振興 (A)	課題別	11	ブータン、ケニア、キルギス、イラク、フィリピン、レバノン、モルティブ、タンザニア	インサイトマネジメント株式会社	22. 5. 24. -22. 6. 10. (遠隔)
25	戦略的マネジメント・マーケティングによる持続的地場産業振興 (B)	課題別	7	エチオピア、マラウイ、コソボ、サモア、トンガ、北マケドニア	インサイトマネジメント株式会社	22. 9. 13. -22. 9. 30. (遠隔)
26	持続的農業生産のための土壌診断と土壌改良技術	課題別	5	リベリア、マラウイ、アルジェリア、東ティモール	アースカフェ	22. 9. 28-22. 11. 18 (遠隔)

● 教育

JICAは、世界中のすべての人々が教育を受けられるという目標に向かって、開発途上国における基礎教育の普及に取り組んでいます。JICA北海道でも、北海道の教育関係者との意見交換や実際の学校現場への訪問等、北海道の教育行政や学校教育の知恵と経験を活かした研修を実施しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
<札幌>						
1	児童の学び改善のための初等算数教授法	課題別	11	モロッコ、ベナン、ジブチ、マダガスカル、マリ、ニジェール、セネガル	北海道教育大学	23.02.01-23.03.02
<帯広>						
1	小学校理科教育の質的向上～「教えと学び」の現場教育～	課題別	8	カンボジア、エチオピア、ラオス、パキスタン、パレスチナ、パプアニューギニア	北海道教育大学釧路校	22.10.27-22.12.15
2	子どもの学びを保障する」へき地教育の振興—SDGsの達成に向けて	課題別	7	カンボジア、ネパール、パキスタン、パレスチナ、アゼルバイジャン、ミクロネシア	直営	23.2.20-23.3.6 (遠隔)

● 民間セクター開発

開発途上国の開発のためには、民間セクターの開発が不可欠です。民間セクター開発とは、開発途上国の民間企業の活力を利用して、国の経済発展をめざす支援です。JICAは「貿易・投資」「観光」「中小企業振興と産業技術の振興」「裾野産業の育成」という4分野で、開発途上国の民間企業の活性化を支援しています。JICA北海道では特に道内で輝く中小企業等の経営ノウハウを活かして、主に市場経済への移行経済下にある諸国を対象とした研修を積極的に行っています。また、日本側と途上国とがwin-winの関係となる研修も実施しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
<札幌>						
1	産業クラスター・アプローチによる産業振興	課題別	10	エルサルバドル、パレスチナ、エジプト、ナイジェリア、ザンビア、ウズベキスタン	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター	22.09.07-22.11.02 (遠隔)
2	持続可能な観光資源管理・開発(自然資源)	課題別	12	ブータン、モルディブ、ボツワナ、ケニア、レソト、ボスニア・ヘルツェゴビナ、キルギス、タジキスタン	公益財団法人はまなす財団	22.08.19-22.09.22 23.02.06-23.02.22 (来日+遠隔)
<帯広>						
1	動物を原料とした食品の品質管理強化を通じた地域産業開発	国別	10	マレーシア	帯広商工会議所	23.01.25.-23.02.09
2	CIS諸国、モンゴル向けアグリビジネス経営管理	課題別	14	アゼルバイジャン、アルメニア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、モンゴル、ウズベキスタン	インサイトマネジメント株式会社	23.1.18.-23.2.1

● 水資源・防災

世界では急激な人口増加や経済発展などにより、水不足や水質汚濁、水災害など、水資源にかかわる問題がますます深刻化かつ多様化しています。JICAでは、利水、治水、水環境などの総合的な観点から、途上国の水資源問題の解決に取り組んでいます。また、途上国の人々の暮らしを直撃し貧困を深刻化させる災害に対しても、災害リスクを軽減するための支援を行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
<札幌>						
1	中南米地域 火山防災能力強化 ※2021年度分	課題別	4	グアテマラ、ニカラグア	NPO法人火山防災推進機構	22.09.22-22.10.14 22.10.17-22.11.10 (来日+遠隔)
2	中南米地域 火山防災能力強化	課題別	7	コスタリカ、グアテマラ、ニカラグア、チリ、エクアドル、ペルー	NPO法人火山防災推進機構	22.09.22-22.10.14 22.10.17-22.11.10 (来日+遠隔)
3	中南米地域 火山防災能力強化	国別(上乘せ)	1	メキシコ	NPO法人火山防災推進機構	22.09.22-22.10.14 22.10.17-22.11.10 (来日+遠隔)
4	アフリカ地域 村落飲料水管理(A)	課題別	11	ブルキナファソ、コートジボワール、マリ、モーリタニア、セネガル、トーゴ	株式会社アースアンドヒューマンコーポレーション	23.03.09-23.03.24 (遠隔)

● 社会保障

開発途上国では、経済発展に伴い労働災害や職業病が増加している一方で、労働安全衛生、労働基準などの法制度や実施・監督体制の整備が不十分なために、労働に起因する被害を受けても、十分な補償が得られず、貧困状態に陥るリスクを抱えた労働者が大勢います。失業の増加や若年層の雇用の問題は、社会の安定にとって大きなリスクとなる可能性があります。JICA北海道では、北海道の事例を活用し、障害者自身が地域の発展の担い手となり、地域社会に根ざしたりハビリテーション、インクルーシブな開発を実践するための基礎を理解し、実践の手法を学ぶための導入的研修を通じ、参加者が活動する地域で、関連する機関や地域のリソースと協力した取り組みを支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
----	------	----	----	-----	--------	------

＜帯広＞						
1	スポーツを通じた障害者の社会参加の促進 (B)	課題別	5	アルメニア、カザフスタン、キルギス、トルクメニスタン、ウズベキスタン	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23. 1. 24-23. 2. 28 (遠隔)
2	スポーツを通じた障がい者の社会参加の促進 (B) (2020/2021後期)	課題別	14	アゼルバイジャン、ジョージア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	22. 3. 14-22. 4. 26 (遠隔)

● 長期研修

開発途上国の発展には高度な専門知識を持った人材の育成が各分野で必要とされています。特に産業を発展させる工学、地球規模の課題である環境管理等の高度人材の育成は、社会、経済、環境のバランスを取りつつ発展する持続可能な開発目標の達成には不可欠です。長期研修は開発途上国の高度人材が本邦の大学での学位取得を支援することで、対象国の人材育成を行うプログラムです。また、プログラムを通じ、日本の大学、産業界と途上国の高度人材との連携を促進します。

※研修員の来日時期が個別で異なる長期研修については、受入期間の記載を省略。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	受入期間
＜札幌＞						
1	資源分野の人材育成プログラム (資源の絆)	長期	16	フィジー、ザンビア、インドネシア、エチオピア、ジンバブエ、モザンビーク、ボツワナ、ミャンマー、ケニア、マダガスカル、マラウイ	北海道大学	
2	アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ (ABEイニシアティブ)	長期	5	ナイジェリア、ザンビア、ガーナ、エジプト、モザンビーク	北海道大学	
3	イノベティブ・アジア	長期	1	タイ	北海道大学	
4	健康危機対応能力強化に向けた感染症対策グローバルリーダー育成	長期	6	コンゴ民主共和国、ザンビア、ガーナ、ナイジェリア、ベトナム	北海道大学	
5	インド工科大学ハイデラバード校日印産学研究ネットワーク構築支援プロジェクト (FRIENDSHIP)	長期	6	インド	北海道大学	
6	SDGsグローバルリーダー・コース	長期	6	ガンビア、ベナン、ザンビア、キリバス、ナイジェリア、フィリピン	北海道大学	
7	食料安全保障のための農業ネットワーク (Agri-Net)	長期	5	カンボジア、ナイジェリア、コンゴ民主共和国、モンゴル、ザンビア	北海道大学	
8	道路アセットマネジメント技術の中核人材育成	長期	1	ザンビア	北海道大学	21. 04. 01-24. 09. 30
9	きれいな街のための中核人材育成コース	長期	1	マダガスカル	北海道大学	22. 09. 14-25. 09. 30
10	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ	長期	1	バングラデシュ	北海道大学	22. 10. 10-26. 03. 31
11	タイ国における自然災害リスクを考慮に入れたインフラマネジメント技術の開発	長期	3	タイ	北海道大学	
＜帯広＞						
1	(連携方式) ABE2020・第7バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	3	ガーナ、ケニア、モザンビーク	帯広畜産大学	
2	(連携方式) SDGsグローバルリーダー・コース2020 (アフリカ)・帯広畜産大学畜産学研究科・博士	長期	2	マラウイ、ジンバブエ	帯広畜産大学	
3	(連携方式) SDGsグローバルリーダー・コース2020 (大洋州)・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	1	トンガ	帯広畜産大学	21. 4. 1-23. 1. 17
4	(連携方式) ABEイニシアティブ (2021～2023年度)・2021年度・第8バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科 (修士課程)	長期	1	モザンビーク	帯広畜産大学	21. 10. 1-24. 9. 30
5	(連携方式) ABEイニシアティブ (2021～2023年度)・2022年度・第9バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	3	ケニア、モザンビーク、ルワンダ	帯広畜産大学	

6	(連携方式) SDGsグローバルリーダー (2021~2023年度) (アフリカ)・2022年度・帯広畜産大学畜産学研究所・博士	長期	2	ケニア、マラウイ	帯広畜産大学	
7	(連携方式) 食糧安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) 2020・帯広畜産大学畜産学研究所・博士	長期	2	パラグアイ、ラオス	帯広畜産大学	
8	(連携方式) 食糧安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) 2020・帯広畜産大学畜産学研究所・修士 (2021春)	長期	1	インドネシア	帯広畜産大学	
9	(連携方式) 食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) (2021~2023年度)・2021年度・帯広畜産大学畜産学研究所 (修士課程)	長期	1	パラグアイ	帯広畜産大学	22. 2. 25-23. 9. 30 (遠隔+来日)
10	(連携方式) 食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) (2021~2024年度)・2021年度・帯広畜産大学 (博士課程)	長期	1	ミャンマー	帯広畜産大学	21. 11. 26-24. 9. 30 (遠隔+来日)
11	(連携方式) 食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) (2021~2023年度)・2021年度・帯広畜産大学畜産学研究所 (修士課程)	長期	1	南アフリカ	帯広畜産大学	22. 4. 21-24. 3. 31 (遠隔+来日)
12	(連携方式) 食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) (2022~2026年度)・2022年度・帯広畜産大学 (博士課程) □	長期	2	キューバ、ルワンダ	帯広畜産大学	
13	(連携方式) 食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) (2022~2025年度)・2022年度・帯広畜産大学 (修士課程) □	長期	2	ラオス、パラグアイ	帯広畜産大学	
14	(連携方式) 道路アセットマネジメント技術の中核人材育成 (2021~2023年度)・2021年度・北見工業大学工学研究所・博士	長期	1	エチオピア	北見工業大学	22. 4. 1-25. 3. 31 (遠隔+来日)
15	(連携方式) 道路アセットマネジメント技術の中核人材育成 (2021~2023年度)・2021年度・北見工業大学工学研究所・修士	長期	2	インドネシア、モンゴル	北見工業大学	22. 4. 1-24. 3. 31 (遠隔+来日)
16	(連携方式) 道路アセットマネジメント技術の中核人材育成 (2021~2023年度)・2022年度・北見工業大学工学研究所・博士	長期	1	モンゴル	北見工業大学	22. 3. 29-26. 3. 31
17	(連携方式) 道路アセットマネジメント技術の中核人材育成 (2021~2023年度)・2022年度・北見工業大学工学研究所・修士	長期	3	エチオピア、ケニア、ネパール	北見工業大学	22. 3. 29-25. 9. 30
18	(連携方式) SDGsグローバルリーダー (2021~2023年度) (アフリカ)・2022年度・北見工業大学工学研究所・博士	長期	1	ニジェール	北見工業大学	21. 10. 5-26. 3. 31